


3月の「図書館おすすめ絵本」です


中央図書館では、3月25日（金）10時～11時、「おはなしの森」の皆さんによる「春休みワクワクドキドキおはなし会」を行います。人形劇や楽しいおはなしがいっぱいです。ぜひ来てください！

	書名	ガスこうじょう ききいっぱつ	分類	Eシ
	著者	シゲリ カツヒコ / 作	出版社	ポプラ社
<p>ここはガス工場。おじさんたちが24時間交代で休みなく働いています。工場ではいろいろな仕事があります。くたを掃除するおじさん。材料を運ぶおじさん。そして香りを研究する『においぶ』や音を開発する『おとぶ』。さて、このガス工場は何を作っているのでしょうか。</p>				

* そのほかの新着絵本 *

- 『うめじいのたんじょうび』 しわしわのうめじいって何才なのでしょう？
 『かいけつ！トイレざむらい』 トイレのピンチはトイレざむらいにおまかせあれ！
 『グーグースー』 夜にぐっすり眠れることはとても幸せなことなのです
 『文房具のやすみじかん』 「書くこと」「消すこと」のしくみを教えてください

ほか

	書名	もったいないばあさん もりへいく	分類	Eシ
	著者	真珠 まりこ / 作・絵	出版社	講談社
<p>もったいないばあさんが森へやってきました。森の中でも遊ばないのは「もったいない」。春の森では、タンポポの腕時計やささ舟、ままごとだつてできちゃいます。秋の森では、落ち葉のふとんやどんぐりの帽子屋さん。さあ、次は何をして遊びましょうか。</p>				

* そのほかの森の絵本 *

- 『もりのおとぶくろ』 怪我をしたおばあちゃんのために森の音を届けました
 『森のささやき』 耳を澄ませて下さい、木々たちの声が聞こえてきます
 『もりのてがみ』 ひろこさんは森の動物たちへの手紙をもみの木に下げました
 『森のみずなら』 大きなみずならを通して生命のつながりを感じられます

ほか